



▲自分の最期の時に、何を大事にしたいか真剣にカードを選びます。

オレンジカフェに興味のある人は桑折町地域包括支援センター（☎582-1188）までお問い合わせを。

もしもの時、どう考える？ オレンジカフェもんも（町委託事業）

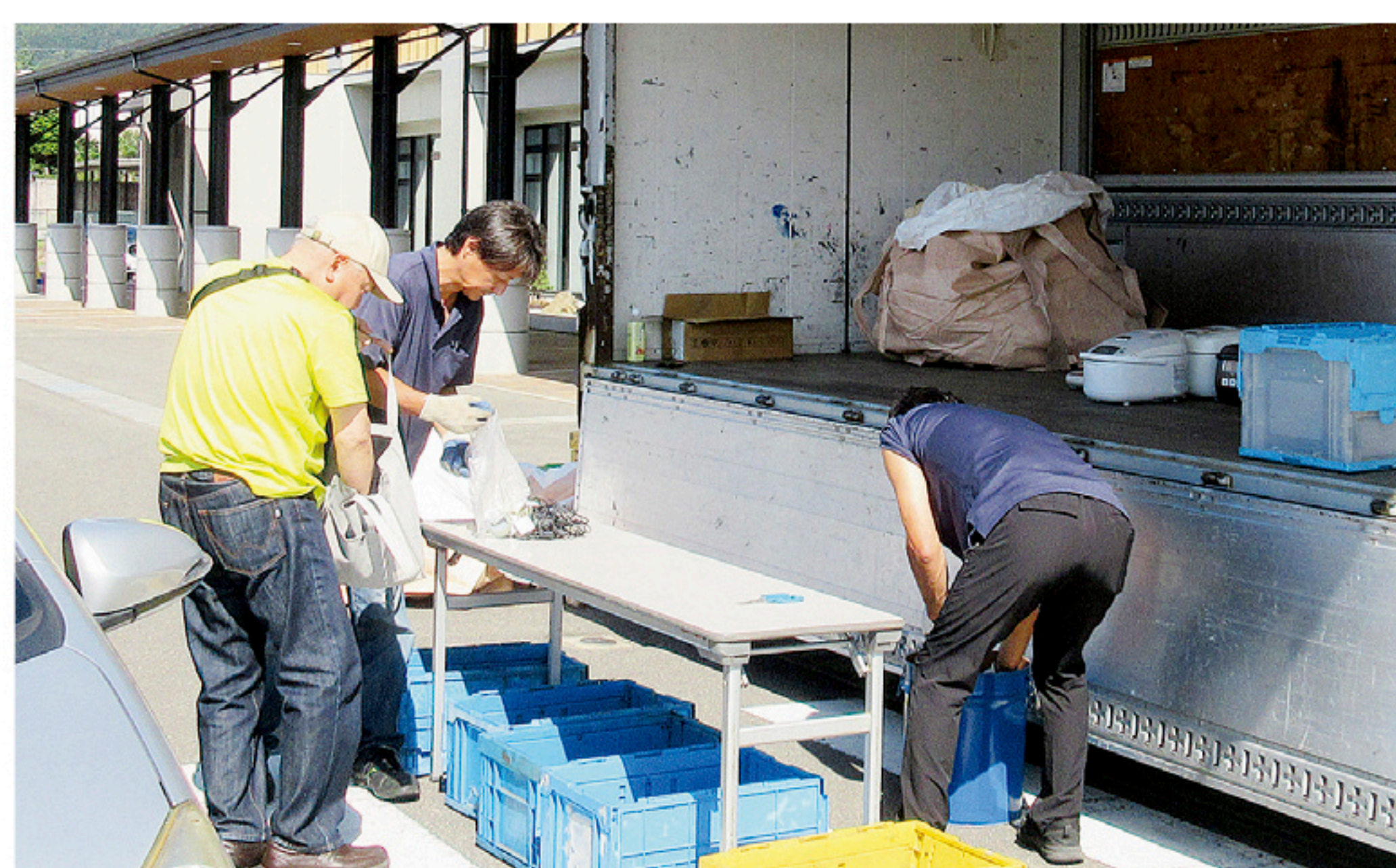
「オレンジカフェもんも」が8月6日、醸芳中学校で行われ、13人が参加しました。伊達地方在宅医療・介護連携支援センターの齋藤雅輝さん、本多文子さんを講師に迎え、『もしバナゲーム体験』を行いました。もしバナゲームとは、「もしもの時、残りの人生で大切にしたいことを考える、伝えるゲーム」です。

自分の最期の時をどう過ごしたいか、何を大切にしたいかをあらかじめ家族や友人と話し合い知ってもらう、元気なうちから考えておくことが大切です。参加者同士で、自分が家族を看取った経験について話をしたり、「改めて自分の大切にしたいことに気付けた」「参加して良かった」という感想が聞かれました。

古着類・小型家電特別回収 貴重な資源を再利用

ごみ減量化と貴重な資源のリサイクル推進を目的とした、古着類と小型家電の特別回収が9月5日、役場駐車場で行われ、96組がリサイクル品を搬入しました。衣服類約650キロ、小型家電約419キロが持ち込まれ、

町全体で資源再利用に対する意識の浸透がみられました。なお、回収した小型家電はリサイクル・再資源化され、古着は東南アジア諸国に届けられたり、清掃用の布として再利用されるなど活用されます。



▶ごみの減量化、資源の再利用のための特別回収を実施

軟式野球・ソフトボールチーム 激励金贈呈

「第20回市町村対抗福島県軟式野球大会」「第13回市町村対抗福島県ソフトボール大会」に出場する桑折町チームへの、激励金贈呈式が8月24日、役場で行われました。町長が「昨年の経験を力に変え、さらなる躍進を

期待しています」とエールを送り、両チームともに「1戦1勝で勝ち抜きたい」と抱負を語りました。野球は9月5日にあいづ球場にて金山町と、ソフトは10月3日に相馬光陽ソフトボール場で泉崎村と対戦予定です。



▶（左から）町長、榊監督、羽根田監督、教育長